

## 日本美術教育学会誌「美術教育」254号～287号(B5版) 目次 &lt;1987～2004年&gt;

号	年	目次	著者名	開始頁	備考
254	1987	巻頭言	藤田睦也	1	
		本学会創立会長・井島勉先生の思い出	中村二柄	2	
		イメージの特質とその心的過程	竹内 博	4	
		プラトンにおける美の問題	浅井 哲	13	
		現代の学校教育における美術・工芸教育の根本的課題	澤井雅史	20	
		幼児の表現と感性(ある幼児の記録考察)	伊藤友七	33	
		より自由な表現をめざして(壁画指導)	林 耕史	38	
		幼児の遊びと絵の表現	伊藤まさ江	43	
		自然とのふれあいの中における造形活動	森脇千種	46	
		子どもの心をゆり動かし生き生きと表現させる造形教育を求めて	鈴木儀治	52	
		「提言」なぜ「造形」と改めるのがよいのか	古市憲一	54	
255	1987	美術教育の出番は何時か	竹内隆夫	1	
		三度目の廃墟 —ポストモダンの美術教育をもとめて—	岡林 洋	2	
		人間性の回路と美術教育 —複合システムとその理念・方法について—	中谷健三	14	
		実践報告 100秒スピーチのポスターをつくろう	野中保久	22	
		第36回学術研究大会共同討議 「美術教育における感性」—今、求められる感性とは—		32	
		講演要旨 美術教育における感性	山本正男	40	
		講演要旨 美術教育の課題	中村二柄	44	
		研究発表 コンピュータ・グラフィックスと美術教育	赤木龍吉	46	
		研究発表 自己に問いながら形や色を決定していく力を育てる図画工作 学習 —この表現課題をもとに構想を深め合うことを通して—	丸山睦雄	48	
		研究発表 感性を培う指導の一つの試み —地域素材を活用して—	堀江睦子	50	
		研究発表 保育所における自然と遊び —子どもの造形表現を通して—	柴田久代	52	
256	1988	感性と身体	浅井 哲	1	
		書の芸術性をめぐって —美学の立場から書を眺める—	中村二柄	2	
		美術教育論その1 —系統化への一つの試み	東 政美	4	
		「共感」を基盤とした鑑賞指導法の研究	川田忠義	8	
		実践報告 自分の想いをいきいきと表現できる子供をめざして —空想の絵(小学校3年生)の実践より—	鈴木儀治	14	
		折り紙 —教材としての視点—	山本和男	20	
		高等学校芸術科工芸の指導について —指導計画に関する実践的考察—	澤井雅史	28	

		文献検索のための索引語私用記 —美術教育関連諸科学シソーラス作成—	石丸新吾	36	
		どの子どもも満足に絵が描ける —松本キミ子さんの水彩画指導法を実践して—	中島陽子	38	
257	1988	現代環境とコンピュータ	岡林 洋	1	
		美術教育における表現活動の胚	石野 真	2	
		美術教育における教師の言語の役割と対話能力—育成方策に関する探索的研究—	村田利裕	5	
		共働論とコンピュータ —両輪の共有論 各論三章—	石丸新吾	21	
		実践報告 生きる喜びを育てる造形活動 —彫塑ヤギの制作を通して—	細萱美穂人	25	
		実践報告 小学校低学年児童の感性を育てる想像表現の指導	岩田三枝子	28	
		実践報告 自然を生かした遊びから育つたくましい幼児を求めて	山尾淳子	30	
		第37回学術研究大会報告 講演要旨「身体と感性」	新田博衛	32	
		共同討議 「現代環境と美術教育」		37	
		総括	中村二柄	53	
		コンピュータに創作ができるか？	新田博衛	55	
258	1989	ペスタロッチの教育と美術教育 —「育児日記」と「幼児教育書簡」における図画について—	石野 真	1	
		美術科教育実習の実地に関する—考察 —履修生のレポートを通じて—	吉村 堯	6	
		デイドロにおける「写実性」の問題	野口榮子	12	
		隔靴搔痒 —造形教育の目標と科名をめぐって—	平田静夫	15	
		企業内技能教育における創造力の開発 —科学技能教育における創造力開発のための美術教育の実践的考察—	奥山 普	19	
		美術教育の新なる課題 —環境の変化に対応する美術教育の模索—	山崎 博	24	
		合科的指導の「活動」と造形活動	藤田由起子	26	
		表現の喜びを味わい深める造形活動 —豊かな個性を育成する授業の工夫—	新村之康	27	
		創造の喜びを味わえる生徒をめざして —1年・絵画「自分を描く」の実践をとおして—	長尾祐太郎	28	
		259	1989	巻頭言	藤田恭弘
フェノロサの美術史構想	森 東吾			2	
「のびのび」「いきいき」考	井上隆夫			7	
パッケージングの機能とデザイン	官能右泰			11	
幼児の遊びと表現	鈴木克子			15	
テキストとしての作品 —読むことの積極性と教材開発—	細谷僚一			17	
玩具デザインによる題材開発	中川 泰			20	
書評 那賀貞彦編『美術教育論』	細谷僚一			21	
鑑賞教材としてのコンピュータ・グラフィックス	赤木龍吉			23	

		第38回 学術研究大会報告 共同討議「美術教育の新たな課題」		25	
		総括	中村二柄	43	
260	1990	巻頭言	石野 眞	1	
		美術教育理論 その2 —デザイン教育システムの試論—	東 政美	2	
		バウハウスにおけるカンディンスキーの造形教育(バウハウスの造形教育—1)	二上正司	7	
		Franco-Japanese Comparative Studies on the Development of Space Cognition as Observed in Drawings	Shinji KURITA	18	
		目標分析からみたデザイン教育における創造的思考 — I 目標の分類と体系化—	上田博之	28	
		自己実現と美術教育 —内面世界の拡大を通して—	柴田有年	34	
		根源の象徴としての風景 —エコロジーと美術教育との関係—	岡林洋	46	
261	1990	美術の国際性と民族性	中村二柄	1	
		美術科教育における人格陶冶目標の課題と展望	大橋 功	2	
		帰国子女の目から見た日本の美術教育の特質	多羅間拓也	14	
		<実践報告> 新入園児とその母親のための造形遊び	鎌田千賀子	21	
		描画と認知の関係について	三浦義行	25	
		ひとりひとりの想いのあふれた表現をめざして	中村妙子	27	
		児童一人ひとりが喜んで学習し、表現意図をもって豊かな表現をするには、どのように指導したらよいか	太田裕子	29	
		一人ひとりが意欲的に取り組む表現活動をめざして	辻田稔子	31	
		第39回学術研究大会報告 講演要旨「現代美術の動向と美術教育への影響」	岡本重温	34	
		共同討議「美術教育の新たな課題」—現代環境・感性・発達の課題—		38	
		総括	中村二柄	50	
		隔靴搔痒(続)—命名のデザイン—	平田静夫	52	
262	1991	「触発される」ということ	藤本忠彦	1	
		目標分析からみたデザイン教育における創造的思考—2.デザインの分野と創造性の指導—	上田博之	2	
		授業過程分析のためのPAD(Problem Analysis Diagram) 授業過程分析図の開発と教師間交流場面での効果	村田利裕	14	
		地方美術館における「教育普及活動」	栗田真司	24	
		造形教育考 I —保育者をめざす学生(一年次)の造形に対する意識を通して—	水田るり	32	
		中学生のパースペクティブ	由良知彦	37	
		発想の元祖と追体験 —発想・創造を、学習・教授の場に即して認識する—	石丸新吾	38	
		子どもにとって描くチャンス—子どもの見方・感じ方を育てる描画活動—	山本とし子	40	
		素材と子どもの造形活動 —材料をもとにした造形あそびの実践から—	西田眞也	43	
		美術好きの生徒にするために—3年間の試行錯誤より—	後藤由紀子	47	

		三年生に選択題材を試みた指導実践	遠藤師夫	50	
263	1991	言語と哲理	萩 駿	1	
		後期中等教育における芸術教育の位相〔Ⅰ〕	澤井雅史	2	
		美術教育のための動詞中心型カリキュラム分析図の開発その1	村田利裕	16	
		障害児造形教育の立場からみた美術教育について	俵 国昭	26	
		美術思考	鴨川美千子	35	
		学会報告 International Conference on STYLE in Philosophy and The Arts.	弓削則之	36	
		第40回学術研究大会報告 共同討議「表現の心を獲得させる方途」		38	
		講演要旨 「みることの拡がりと深まり」	川上 實	46	
		総括	中村二柄	54	
		図工学習で問われること —楽しく意欲的にとりくむ図工学習とは—	岡田澄江	55	
		子どもの造形活動における「出会い」の創出と援助	瀬邊 亨	58	
		自分の想いを生き生きと表現できる子どもをめざして	塩貝和美	60	
		美術教育における環境と学習構造 —人間主義心理学からの一考察—	大橋 功	62	
		自己実現と美術教育 —価値観の形成をめざして—	柴田有年	66	
		新造形と造形鑑賞学習の実際	古市憲一	70	
264	1992	巻頭言	谷脇敬二	1	
		東西美術の交流と相反 —書と絵画—	中村二柄	2	
		学校教育の中での芸術に関する教育の可能性と責任	由良知彦	12	
		造形教育考2 —保育者をめざす学生(二年代)の造形に対する意識を通して—	水田るり	14	
		発達遅滞養護学校高等部の美術教育について	出井伸明	20	
		視覚的写実期の学習と考察	橋本 務	32	
		空にのぼっていったら	中村妙子	37	
		幼児の表す喜び	鈴木まき子	39	
265	1992	個性について	井上隆夫	1	
		初等教育段階における着彩能力の発達に関する研究(その1)—学年・性・学習課題の違いについて—	村田利裕 高梨一彦 愛野良治 佐々木保行	12	
		第40回学術研究大会報告 ＜講演要旨＞ 現代芸術について	石田 正	20	
		＜講演要旨＞ 「幼児の描画の二重性」	郡司修三	26	
		共同討議 「生きることと美術教育」		33	
		2才児を中心とした表現	土井保子	52	
		子どもの遊びと造形—造形遊びへの提言—	陶山弘志	54	

		美と対話する子どもたち	材木定	56	
		生涯美術学習の背景について—主に生活や文化的環境からみれば—	俵 国昭	59	
266	1993	学校建築を見直す	細谷僚一	1	
		美術鑑賞の重要性と問題点について	末石幸雄	2	
		連想イメージと造形教育	向坂一弥	11	
		小学校図画工作科の造形化への改称と造形科の新しい視座	古市憲一	21	
		児童後期の児童が五感で描く絵画の実践と観察	橋本 務	27	
		願いを持って学び続ける図画工作—見て描くことへの認識を—	中島陽子	37	
		子どものおもいを大切にしたい絵画指導 —わたしの作ったお話の世界—	河野鈴香	39	
267	1993	子どもの純粋な感性にふれて	永広兆子	1	
		日本における生活造形について ころとかたち	安土 優	2	
		西洋絵画におけるカラヴァッジオ絵画芸術について	俵 国昭	9	
		第41回学術研究大会報告 ＜講演要旨＞ これからの美術教育	辻 弘	17	
		＜講演要旨＞ 「芸術と技術」	中村二柄	20	
		共同討議 「学校教育の復興と美術教育」		24	
		描画の原点にかえて—楽しい落書きあそびの実践—	松本みどり	36	
		教師の役割 — 子どもの生活と教師の目 3歳の事例から—	三浦義行	38	
		学校教育の再生と美術教育 —造形遊びの展開—	角 美幸	40	
		美術好きの生徒にするために—音の出る焼き物づくりを通しての一試行—	後藤由紀子	42	
		多様な子ども達にこたえる図画工作教育とは	今井ユミ	44	
268	1994	自然と人為	上田博之	1	
		教育と芸術と美学	石川 毅	2	
		美術教育の真価を問う —教科性の確立を願って—	竹内隆夫	6	
		現代世界と芸術教育のありか —情報・環境・人間—	澤井雅史	9	
		絵画の中の反映像の意味についての考察—反映像表現の類型化の試み—	猿田 量	24	
		人権教育と「ポスター・私の訴えたいこと」 —実践と問題意識—	由良和彦	32	
		子どものよさを生かす授業展開の工夫—しづか おめでとう（お話の絵）1年—	森江里子	36	
		願いや思いを大切にしたい表現活動 —地域素材を生かして図工科と生活のあり方を考える（一年生の実践）—	河部多香子	44	
269	1994	一日に十回感動する	東山直美	1	
		美術教育の拝啓と教育課程 その1 —全体論的立場からの考察—	大橋 功	2	
		幼児の描画に思う	鈴木克子	12	

		今日の美的(感性)教育について	石川 毅	14	
		今、学会に求められているもの	中村二柄	23	
		美術教育に求められる人間像—情報・環境・人間—	梶野哲・柴田有年	27	
		主体的に造形活動に取り組む子どもを目ざして—自由記述を通して子どもの表れから学ぶ—	根本勝広	44	
		素材と会話・手からの発想 —養護学校のとりくみから—	出井伸明	46	
		幼児と教材の関係—身近なものから発想する・クルクル回るものへの興味の呼びおこし～ 5歳児を例に	三浦義行	48	
		ひとりひとりの育ちにあわせた造形表現の指導はどうあったらよいか—障害児の造形表現の指導—	小嶋瑞紀	51	
		アメリカと日本の美術造形教—3年間滞米経験から—	降旗 孝	53	
		造形表現におけるマテリアルリテラシー (material literacy)の育成とニューメディアアートの可能性	久松文記	56	
270	1995	生き方と美術教育	鈴木 修	1	
		バウハウスのデザイン基礎教育 —イッテンとモホイ=ナジー—	二上正司	2	
		美術教育の背景と教育課程 その2 —人間形成としての美術教育—	大橋 功	11	
		造形表現における“見立ての手法”に関する考察—デザイン手法としての視点から—	石野順子	20	
		子供一人一人のよさを生かす授業の工夫—ぼくのお話・わたしのお話(6年)の実践より—	塩貝和美	31	
		楽しんで創り、歓びのある表現を目指して—表現材料にこだわることの必要性—	飯室 仁志	39	
271	1995	本物の感性の教育を求めて	遠藤師夫	1	
		幼児造形の系譜—和田 実の造形論—	三浦義行	2	
		第42回学術研究大会報告 ＜講演要旨＞ 「いのちの砂」を究明する芸術教育 —とくに日本中世の美意識について—	三崎義泉	8	
		＜講演要旨＞ 「版画と工房・コラボレーション」	黒崎 彰	17	
		共同討議 「人間のいのちと美術教育」 —人間存在・価値観・環境—		23	
		「自分のおもいを豊かに表現する造形活動をめざして」	河野鈴香	40	
		表現(創造活動)につながる鑑賞教育 —シュテューデル美術館「キンダーカタログ1」を通して—	田中伸一	42	
		「より深く人格の陶冶に貢献しうる造形・美術教育の新しい展開」 —世界的な難課題をテーマにした題材の開発とその指導—	太田恵美子	44	
		確かな目標設定・評価と豊かな授業へのアプローチ	松岡宏明	46	
		感性と発達と造形表現活動 —5歳児を中心に—	梅澤啓一	48	
272	1996	自然の中で豊かな感性を	森脇千種	1	
		美術教育のこれからをめぐって —美術教育研究の課題と展望についての提言—	大橋 功	2	
		感性発達のメカニズム研究	梅澤啓一	11	
		子供が生きる制作活動の過程を考える	鈴木 修	20	
		「身近に存在する教材開発」の研究	梶原幸史	22	
		豊かな想像力を生み出す題材構成の在り方を求めて —ほとんどは授業までに終わっている—	今井ユミ	29	

		子供一人一人のよさを生かす絵画の授業—「おどろトラ」の実践1年—	多田秀子	36	
273	1996	巻頭言	山本和男	1	
		中学校美術科教育における個性を伸ばす—多様な学び方の開発	高橋敏之	2	
		第45回学術研究大会報告 〈講演要旨〉「20世紀美術の変貌 ポンピドゥーセンター所蔵〈身体と表現〉展に因んで」	富山秀男	10	
		〈講演要旨〉「美と知を楽しむ」	西島安則	17	
		共同討議「人間のいのちと美術教育」 —美・知・いきがい—		22	
		シンポジウム 美術教育のこれから—教育改革と美術教育		34	
		総括	中村二柄	49	
		自ら生きる力を育てる美術教育 —生き方につながる風づくりの学習展開—	浦木裕之	50	
		博物館を活用する実物鑑賞教育の研究 —鑑賞教育におけるワークショップの指導案の開発—	劉 素真	52	
		中学生の鑑賞力を引き出す授業 —美術への関心を高める人間への理解を深める鑑賞教育—	田中佳洋	54	
		一人一人のよさを生かした絵画指導	森江里子	56	
274	1997	育てる教育からの出発	小野越子	1	
		日本美術教育学会シンポジウム`97 「教育改革と美術教育」報告		2	
		〈研究調査〉 美術・図画工作科学習指導についての調査 -1-京都府亀岡市立小学校の場合	大橋 功	14	
		〈実践報告〉 造形活動におけるアイデア生成支援に関する研究	石野順子	22	
		新たな表現の可能性が広がる美術の学習—《ゆさぶりから発見へ》『戻り』の学習過程』の実践研究から—	鬼頭立城	32	
		学びと遊び・子どもが集うミュージアム	亀田正司	42	
		〈研究報告〉芸術教育の今日的意義	上野山啓	48	
275	1997	美術教育からの手紙	大橋 功	1	
		幼児の頭足人的表現形式に関するK.Buhlerの主知説批判	高橋敏之	2	
		第46回学術研究大会報告 　〈講演要旨〉 彫刻と私	細谷泰慈	10	
		〈共同討議〉 「自分探しの美術教育」 —Art (美術)・Being (存在)・Culuture (文化)—		24	
		〈研究発表〉 自分のよさに気づき自分らしい表現を楽しむ子ども	上杉登志子	39	
		七色の夢	武田直樹	41	
		美術科必修継続を決定づける新しいテーマの設定について	太田恵美子	43	
		地域に根ざした美術文化を生かす鑑賞教育の研究 —地域鑑賞教材の開発とその授業実践を通して—	由良和彦	45	
		総括	中村二柄	47	
		研究報告 触知覚認識による表現について(幼児の描画活動からの考察)	金山和彦	49	
276	1998	根源への回帰 —芸術・救済・教育—	澤井雅史	1	

		<中村二柄先生会長引退記念講演会記録1>美術の友人たちに贈る	中村二柄	2	
		環境教育が内在する美術教育のあり方	松岡宏明	10	
		児童の「よさ」に着目した造形教育	白木美稚子	20	
		美術教育による「総合的学習」の設計とその課題 —展覧会企画のワークショップの実践から—	多羅間拓也	23	
		竹の里をテーマとする「洛西竹工房」	由良和彦	33	
		「いきる力」と美術教育	居上真人	41	
277	1998	<中村二柄先生会長引退記念講演会記録Ⅱ>美術の友人たちに贈る	中村二柄	1	
		第47回学術研究大会報告 <講演趣旨>鑑賞教育と美術館教育	平田健生	11	
		<共同討議>「美術教育の今、これから」		23	
		審美眼的発達に基づくヴィジュアル・シンキング カリキュラムに関する基礎的研究	杉林英彦	36	
		三原色によるにじみ絵 —シュタイナー教育実践園のこころみ—	伊藤 正	38	
		滋賀県立近代美術館の教育普及活動 —ボランティアスタッフの視点から—	滋岡陽子	40	
		モノからイメージへ —中学校美術科教育の質的転換をどうはかるか—	谷山 育	42	
		総括	中村二柄	44	
		幼児期における美術教育の意義とそのあり方	加藤仁美	46	
		中学校における工作・工芸題材の可能性 —角棒材による「やじろべえ」制作をとおして—	新関伸也	49	
		保育における技法あそびについて —保育実践現場への質問紙調査をもとに—	金山和彦	55	
		日本国内の塗り絵の出版状況と幼児教育への浸透	小田久美子	60	
		保育遊具としての積み木の教育的意義	鎌野智里	66	
278	1999	学校美術教育におけるカリキュラム改革の課題と展望 —自己実現への課程としての美術教育— A Perspective on Problems Facing Art Education in Schools and the Changing Curriculum -Art Education as a Process of Self-Actualization-	大橋 功	1	
		育てれば育つ！ 21世紀を恋する少年達は —中学校・美術科からの新しいアプローチ— GDV学習の提案	古市憲一	11	
		高等学校・工芸の鑄込み技法覚書	出井伸明	18	
		思春期における「自画像」制作の意義について「対話ノート」を活用した自画像制作の試み	野津義輝	24	
279	1999	現代美術と世界基準	上野山啓	1	
		造形表現活動を媒介とした乳幼児期の感性発達のメカニズム	梅澤啓一	2	
		環境芸術 —エコロジカル・アートとしての基本的視点と概要—	土田隆夫	12	
		子どもの生活の中にある塗り絵の種類と保護者の塗り絵に対する意識	小田久美子	22	
		第48回 学術研究大会報告 <講演趣旨Ⅰ>古代出雲 —宍道湖の夕景を通して考える—	藤岡大拙	29	
		<講演要旨Ⅱ>来るべきエポックへ	中村二柄	37	
		<共同討議>「美術教育と21世紀の教育改革」		40	
		現在の小学校美術教育の問題点 —評価・より豊かな図画工作科の授業を願って—	東紀美子	61	



		豊かに感じ、楽しく表現する子どもたち ―季節の中で輝き、仲間と共に熱中して遊ぶ子どもを育てるために―	飯塚秀香	62	
		「自分」からの出発 ―「触覚」の意味の発見	朝野浩行	64	
		消すことからの造形	鎌田千賀子	66	
		幼児期における美術教育の可能性 ―実践を通して考える―	加藤仁美	68	
		図画工作科における学習内容厳選の視点 ―新教育課程に向けたカリキュラムの再構築を目指して―	西尾正寛	70	
280	2000	「総合的な学習の時間」と美術教育	梅澤啓一	1	
		ブランクーシとジャポネスク	上野山啓	2	
		不規則に回転する木製球体玩具 「たまたまっころ」の開発と課題	木内菜保子	11	
		日本美術教育学会京都研究集会 ＜講演要旨＞「美術教育の理念」―美学・芸術学の視点から―	神林恒道	20	
		＜共同討議＞「美学を根拠とした美術教育」		28	
		イラストレーションボードを用いた革工芸の技法 ―版画用プレス機によるエンボス加工法―	野津義輝	41	
		「重症心身障害児の造形活動について」―施設における陶芸指導の現状と課題からの考察―	金山和彦	46	
		コンピュータ内の仮想描画道具の研究	Jintae Lee	55	
281	2000	「触覚」からの美術教育	神林恒道	1	
		滲み現象の物理的分析及びシュミレーション	Jintae Lee	2	
		幼児の美術教育と塗り絵との接点	小田久美子	8	
		第49回学術研究大会報告 ＜講演要旨＞分かち合いの世界 ―医療を通して望み見る21世紀―	川原啓美	15	
		＜講演要旨＞美術と音楽の接点 ―オカリナを通して―	加藤いつみ	20	
		＜共同討議＞学校教育の行方と芸術教育 ―総合的な学習と教科学習―		27	
		アジアの美術教育の一考察 ―ラオス、ブータンの小学校―	辻田美和	40	
		想(イメージ)が生まれ、広がることを大切にしたい図画工作科授業 ―「水彩絵の具による想像画」の実践を通して―	吉田一夫	42	
		コンピュータ・グラフィックス(画像合成)の授業実践を通して	足立 元	44	
		環境芸術 ―エコロジカル・アートとしての提案	土田隆夫	46	
		何事にもとらわれず自己を表現する楽しさを味わう造形活動	塩澤鎮子	48	
		中学生に壮大な夢とロマンを持たせ得る全く新しい教育システム ―グローバルドリームビジョンの内容―	太田恵美子	50	
		まとめの言葉	神林恒道	52	
		小型児童館における造形教育と造形要素	福井晴子	54	
282	2001	「意味ある場所」としての小学校と造形活動	新関伸也	1	
		意図的かつ臨床的な『造形表現』の授業展開 ―保育者養成現場より―(前)	松岡宏明	2	
		日本の美的空間意識 ―「逆遠近法」は単なる画法ではない―	梶野 啓	12	
		最近の美術教育をめぐる問題	梶野 哲	22	

		自然造形あそびと見なし活動 —幼児と学生による同時比較—	土田隆夫・沖中重明	29	
		『本心から表現する心を育てる』—静岡支部の近況と研究報告—	鈴木儀治	38	
		市民対象の彫塑教室運営にかかわる状況 —その運営を通じた発見と考察—	水嶋康宣	42	
		<祝50周年> 学会50年の思い出	中村二柄	49	
		懐かしき東京大会・7年前の熱き思い出	古市憲一	50	
		日本美術教育学会 振り返る50年	藤田睦也	51	
283	2001	今、子供の感性の回復を	近藤恒昭	1	
		意図的かつ臨床的な『造形表現』の授業展開 —保育者養成現場より— (後)	松岡宏明	2	
		第50回学術研究対大会・京都大会報告 [講演要旨Ⅰ] 生きる意味と生きる力と	大橋良介	12	
		[講演要旨Ⅱ] 美術教育の根源 —触覚性から—	神林恒道	19	
		<共同討議> 生きる意味を問う美術教育		32	
		文脈に浮上する表現のリアリティ	柳沼宏寿	54	
		キッズアート ～地域の美術教育～ —子ども本位に造形空間の創造—	鈴木典明	56	
		子どもの絵は関係から生まれる	山崎照恵	58	
		活動の活性化に向けた、造形イメージの形成、交換、共有化とその支援 —保育学生のグループ制作活動からの考察—	鳥越垂矢	60	
		夜間中学の美術教育をどう創るか	谷山 育	62	
		自分らしさを追及する表現活動	池田芳子	64	
		心のアンテナを高め合う美術教育 —ビジュアルコミュニケーション能力の育成—	鈴木英司	66	
		子どもの描画研究とその周辺領域	小田久美子	67	
		短期大学におけるデザイン教育の試みと考察 —プロセス逆転によるスムーズな制作活動の誘発—	伏見清香	74	
284	2002	「未来社会の新構造と教育」—せめぎ合いの中で—	土田隆夫	1	
		実習と連携した保育内容科目(造形表現)の教育内容・方法のあり方について —大学附属幼稚園との協力関係を通じて— What Content and Method of Education on the Nurture Content Subject(Plastic Expression)Liaised with Practice Teaching Should Be -Hand in Hand with the Kindergarten Attached to the College-	梅澤啓一・山崎土来見・本郷順子・浦上みゆき・大岩玲子・太田和美・難破瑞穂・平田理香	2	
		幼児理解に基づいた保育者養成の造形表現学習を考える —子どもにとって分かりやすく面白い、オペレッタの案内状—	鳥越垂矢	13	
		小・中学、高校「美術史教育」のモデル 一般様式理論(その1)	梶野 啓	23	
		<アジア芸術学会報告>		32	
		<神林セミナー報告>ルネサンスとイタリアⅠ	神林恒道	45	
		図工・美術科教育における現実的な課題 —体系的な教科カリキュラム構築の意義—	降旗 孝	48	
285	2002	日本の美術教育学における基本理念の推移と探求されるべき方向性 The Movement of Fundamental Ideas in Japanese Art Pedagogy and a Direction We Should Research	梅澤啓一	1	
		具体美術協会と児童美術の接点について Interface between Concrete Art and Children's Art	金山和彦	10	
		幼児の描画活動を援助する家庭造形環境の実態	福井晴子	16	

		高等学校美術教育における絵画指導についての研究	中島慎一	26	
		感じる力を高め、心豊かに生きる力をはぐくむ造形活動	福尾圭介	36	
		第51回学術研究大会・滋賀大会報告〔講演要旨Ⅰ〕死と教育	西野範夫	42	
		〔講演要旨Ⅱ〕ゆとりほど苦しいものはない	吉岡 洋	47	
		<シンポジウム・共同討議>美術教育は改革の礎となりうるか？—真の教育改革とは—		54	
		生徒の能動性を生かす鑑賞指導のあり方を求めて「石山寺縁起絵巻を読む」の実践を通して	人見和宏	71	
		マルチメディアと美術教育 自作教材ソフトを使っての実践とこれからのマルチメディア教育について	堀田香織	73	
		見方や感じ方を広げながら、豊かな心をはぐくむ鑑賞活動	中條幸治	75	
		藝術教育における模倣と形成の意味—伝統・想像・発達—	澤井雅史	77	
		まとめ	神林恒道	79	
286	2003	本学会の歴史と将来	梶野 哲	1	
		美術館における親子創作活動の展開～県立美術館普及課学芸員と県立女子短大保育科教員のコラボレーション～	松岡宏明・高森順子	2	
		芸術と教育	梶野 哲	12	
		軽度心身障害児が困難を示す図画工作の学習内容と、それに対する指導の工夫	篠木麻紀	21	
		美術と音楽のコラボレーション授業—学校社会における芸術理解への試み—	野津義輝	27	
		<書評>美術教育者へのよき道標	神林恒道	31	
287	2004	現代社会の困難さと美術教育	大嶋 彰	1	
		美術館と連携しての鑑賞教育の方法 Method of Education through Appreciation of Art Works in collaboration with Art Museum	松崎としよ	2	
		第52回学術研究大会・岡山大会報告 講演「美術教育を軸とした美術館と学校の連携に向けて」	ふじえみつる	10	
		シンポジウム 基調提案 鑑賞教育の内容と方法—学校と美術館の連携をさぐる—	泉谷淑夫	15	
		シンポジウム・共同討議 鑑賞教育の内容と方法—学校と美術館の連携をさぐる—		17	
		鑑賞教育における美術館の役割—主体性を持った鑑賞のあり方—	加賀谷福子	36	
		生徒の能動性を生かす鑑賞指導の研究—『風神雷神図屏風』を味わうの実践を通して	人見和宏	38	
		1978年のL. H. チャップマンの『教育における美術へのアプローチ』の研究—鑑賞指導法に関する内容について—	和田 学	40	
		障害のある人たちの芸術文化活動支援について—創る欲求と他者との関係性から—	田野智子	42	
		「コンピュータによる環境ポスターの制作」における授業方法に関する研究	西村直昭	44	
		『児童画』のルーツを探る—昭和初期「想画」の考察を通して—	上中良子	46	
		大会のまとめ	神林恒道	48	
		<書評>佐藤学・今井康雄編『子どもたちの想像力を育むアート教育の思想と実践』	大橋 功	50	
		日本美術教育学会会則・学会誌編集に関する規程、他			

(編集部 新聞伸也 作成)